

快樂の座

成年向け



剣を棄て

我が妻となれ

ゴ
ゴ
ゴ
ゴ

……なっ
馬鹿な……

何の
つもりだ!?

下らぬ理想も
誓いとやらも
すべて棄て

これより先は
我のみを求め
我のみの色で
染まるがいい



断る！

断じて

ぱん



あ...あ...

ん...



ウ...

アアアアアア!!

アッ

アッ



ア…ガツ……

ニト…

あ



我に尽くす
喜びを
知るには

まず痛みを以て
学ぶべき
だからな



ニナラ…

……あ

……

飛行宝具
ヴィマーナだ

な……ん……

……
……

貴様……ッ

な……!?

瓦礫の中では
辛気臭いのでな
わざわざ褥も
用意したのだぞ？

地上より五百メートルの
上空ならば
婚儀に邪魔は入るまい



ガ
シ
ャ
ン!

ふざけるな
アーチャー!



ガ
シ
ャ
ン!

ガ
シ
ャ
ン!

これを
ほどけ!

ガッ

んっ…

恥じらう姿も
なかなか可愛いでは
ないか
セイバー…?

んっ…



だがいい加減
腹を括れ

案ずるなセイバー
この我が
苦痛のみならず…
極上の快楽を
与えてやるぞ

な…

なにを
バカな…!

我が貴様を
女にしてやる

喜べよ
セエバアアア

.....

ぐい

むい...

じっくりねっとり
いたぶって
何度でも絶頂へ導き

腰が砕けるまで
犯しぬいて
骨抜きにして
やるぞ

おん

...ギルガメツ

シュ...

だっ!!

この万象の王
ギルガメツシュの
寵愛を一身に受ける
悦びをを識れ

アーチャー...
貴様ツ...!!

妄言はそこまで
にしろ!!

私は聖杯で
ブリテンを...

ぐい

喚くな

!!



ガッッ





あまりに抵抗するなら
その四肢を宝具で
串刺した上で…

苦痛にのたうつ
貴様を辱めてやっても
よいのだぞ？

どうする
セイバアア？

へ……………



本気…だ

ははッ

小さめだが
柔らかいな

愛らしい
乳房ではないか

っ…や…

ちゅる
ちゅる



素直に我を
受け入れるなら…

壊れ物を扱うように
優しくいたして
やらんこともないが…

見ろ
先端がすっきり
効ったな

悪くない
舌触りだぞ

んん！

セイバア

ちゅる
ちゅる

ちゅる
ちゅる



嫌だ！
気持ち悪い——

びくん

なのに
なんで——

こんな……
うそだ……

身体に電流が走る
みたいに
勝手に——

やめ……ッ
さわるなっ……！

ひ……あつ……

嘘だ——



アツ……は

身体……熱い……
いやだ——

こんな……
昂ぶって——

あつ……あつ……

ゾクッ……

ゾクッ



こんな好き勝手……
弄ばれるなんて——

こわい——

グッ
グッ

や……やめろ……ッ

ア——チャ……

ずる、



ほう……
もうすっかり濡れて
いるではないか

馬鹿な……
私……濡れて――

……

こんな……
傲岸不遜な男に
辱められて
私は――

ジュン
ジュン

ジュン
ジュン

はア……ッ

!!



いや……

アッ

な……
ちがッ……

怖い――
こんな

堅物の割に
存外感じやすい
カラダなのだな

愛いぞ？
もっと痴態を
我に見せよ

よいよい

こんな大きいのが
私の臍内――



セイバー

我が寵愛を
賜わす

受け入れろ

いア……

やめ……



がッ……ッ

ズズ

あ……ッ



ははは……見ろ
飲み込まれていくぞ……!

ぬ
びび

ら……ん……



——それ……
根本まで
入ったぞ
セイバア……

ぢぢぢい……

ギチギチだな……

う……ッア

ひ……き……いあ

痛い——
大き……
苦し……ッ

ガミカ



ほう……
まさかとは
思ったが……

貴様本当に
処女だったのか？

嫌……ア……いたい……
動かさな……でッ

いやあ……んッ



ぢぢぢい
ッ

痛ッ！



悔しい……

ガニ

ガニ

ガニ

こんな男に……!!

黙れ
アーチャー!!

貴様の
穢らわしい性器など
喰い千切つてくれる!

二度とこんなことが
出来ないように
その睾丸
踏み潰してやる……!!



殺して……
やる……

……



ははは
はあはあ
ははは



ずちんずちん!

そうだ
もっと締め付けろ!!

愛い奴よのう

ひあ……

痛ッ……ア

……

いいぞ女……

面白い……!



もっと抗っても許す
我を興じさせよ
セイバー

ズンズン

取っつけてさう

ズンズン



気持ち悪い...

痛い
——
苦しい

んあっ...

身体の中
——
内臓を灼熱で
こじ開けられて

乱暴に
犯されて

ズンズン

ズンズンズンズン

ズンズン

ズン

ズンズン

えうっ

ズンズンズン

ズンズンズン

ズンズンズンズン

ズンズン

ズンズン

すっかり内部が
馴染んで来たぞ
セイバー

蕩けた
よい貌になってきたな

は、
ハハ…
はしたない…
びしょ濡れでは
ないか

あっ…く

ひびく…

感じているので
あろうか？

んんんん
んんんん

アウト

ずんずんずん
そうだもつと
声を出せ！
嘘だ…
こんなの—

きもちよく
なんか

もっと
暗け!!

セイバー
我を見る

私の眼を
見ろ！

真紅の瞳だ—
見透かされる—

なんで—？
嫌なのに—
どうしてこんなに
きもちいいの—？

快楽と絶頂を
呼んでやる

肉体の
卑しさが
暴かれる—

ウウツ…はア

はひびく…

ぎゅぎゅぎゅ

ぎゅぎゅぎゅ

肉欲を解放しろ
セイバー
いやらしく腰を振って
我に縋り付け！

求めよ！
めくるめく喜びを求め
我を求め

達して果てる顔を
見せよ

我が子を
孕むがよい
セイバー

貴様の子宮の奥底に
たつぷりと子胤^{こだね}を
注いでやる

何度も

何度でもだ！

セイバー……

セーバー……



やめ…

やめろ
アーチャー…

快感を覚え！
セイバー—
イけ！

おかしくなる

いけっ

いけ、…ッ

いっけ…

ここがいいのか
セイバー？

はッあ！

あ…

はッあ！

はッあ！

はッあ！

はッあ！

はッあ！

はッあ！

はッあ！

恐れるな
来い！

気持ち良くて
怖い

ガク
ガク

はッあ！

はッあ！

はッあ！

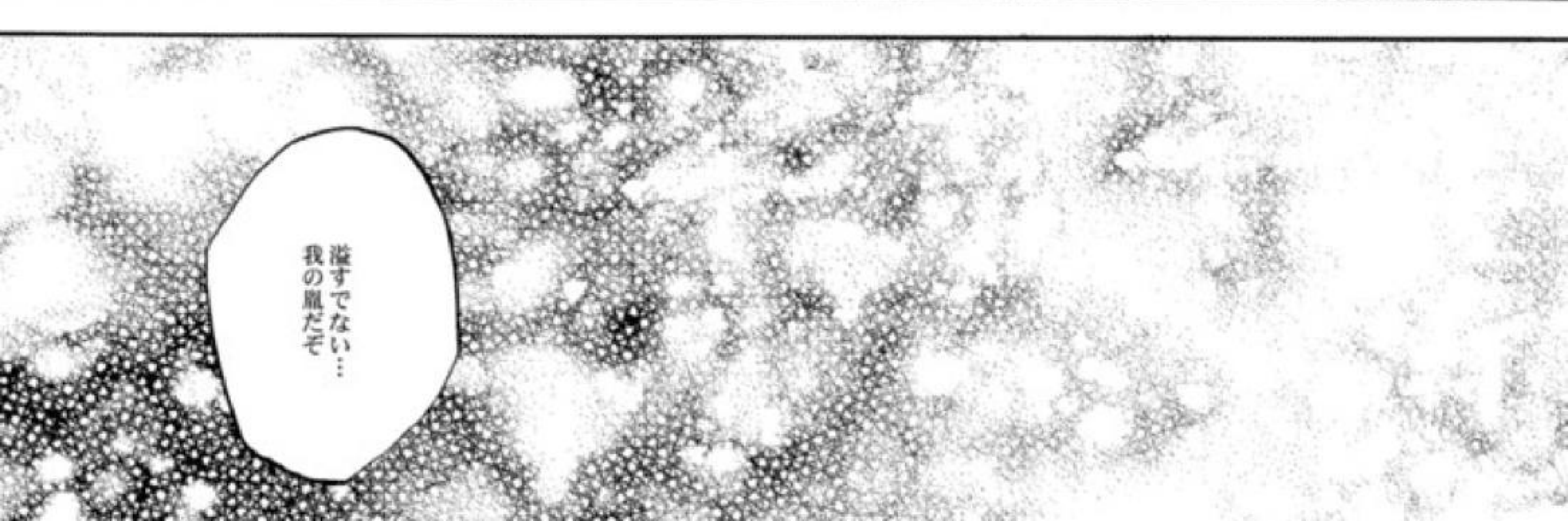
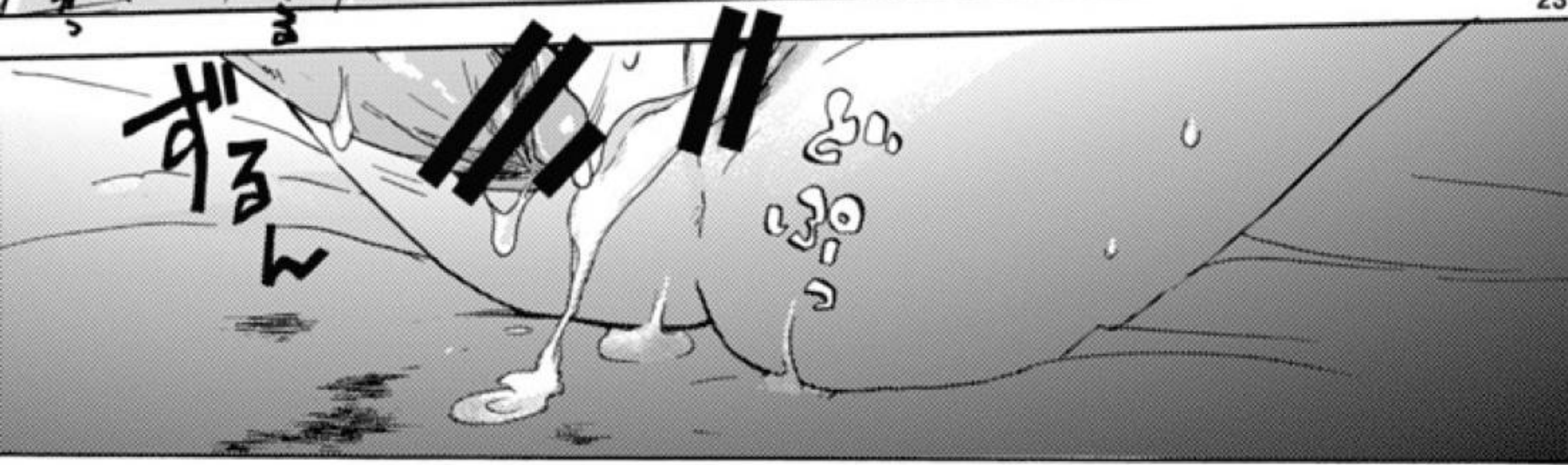
はッあ！

はッあ！

はッあ！

はッあ！

はッあ！



……いけっ!!

……いけっ!!

はた た た



そう
こなくてはな
セイバア...

はた...



アーチャー.....

はた

貴様...ツ
許さん...



やるツ.....

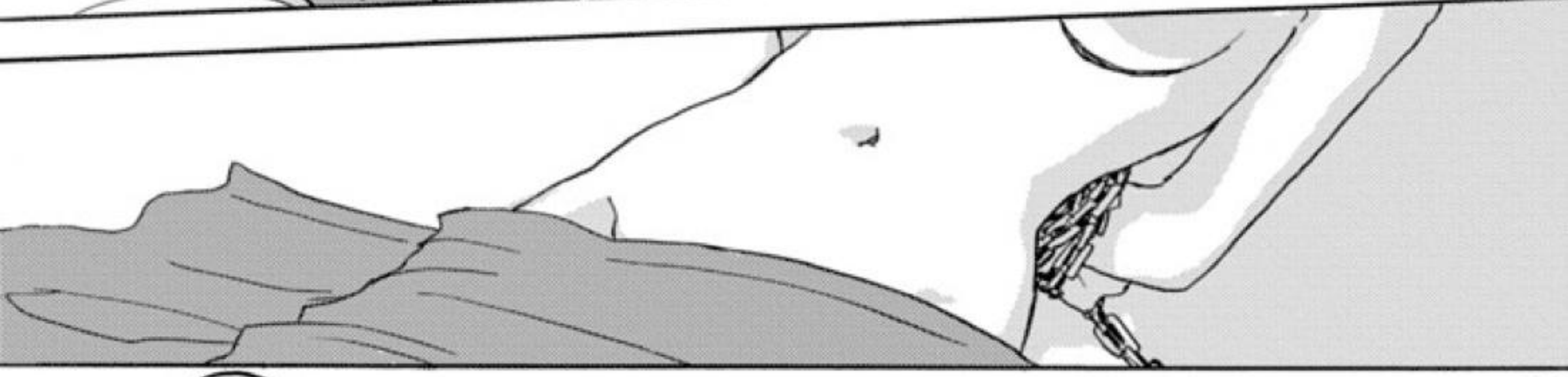
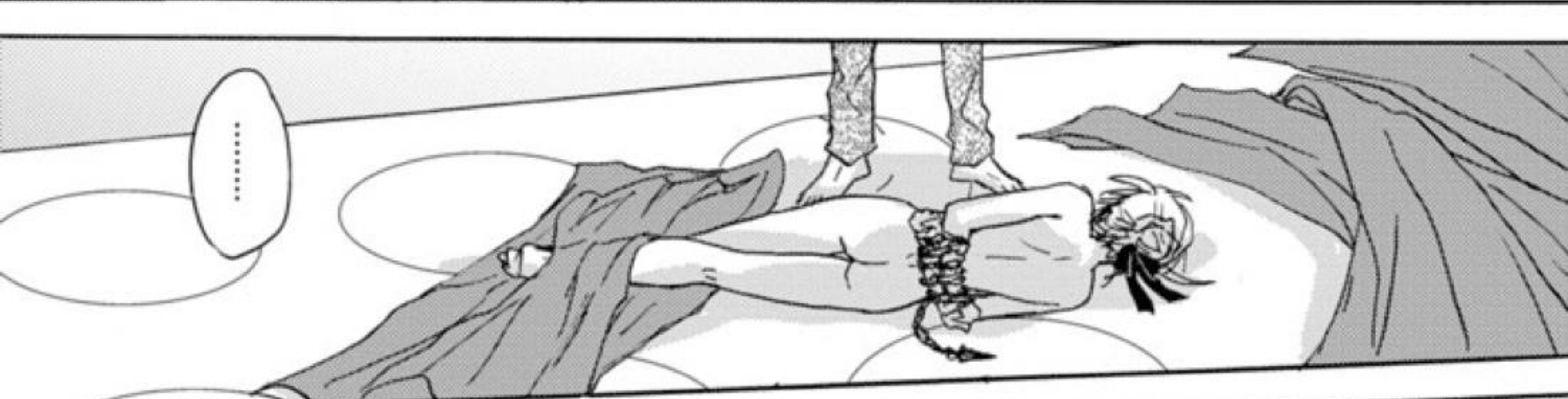
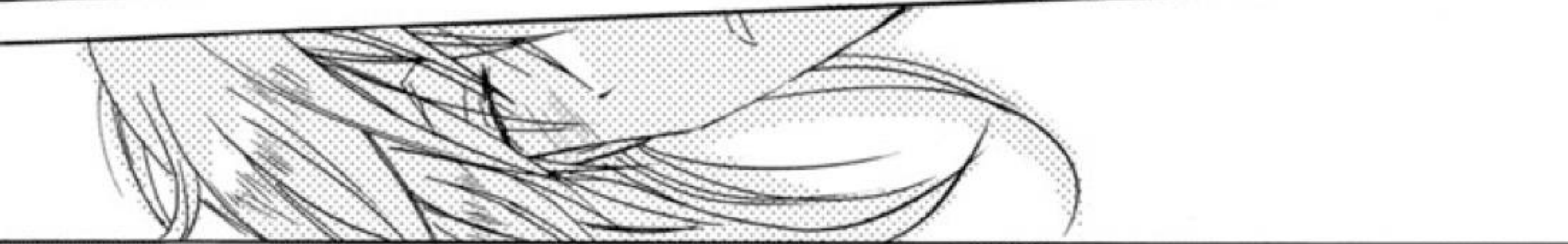
殺して



はた

フン...
そういう訳には
いかないな

つゝキキキキキ



女は腹を冷やしたら
いかなのであろう？

いつまでも
ハダカで寝ていては
身体を冷やすぞ
セイバー



仕方あるまい
我の上着を
貸すか...

全く…

世話の
焼ける女だ…

だがいずれ
我の子を宿す女だ
母体は労って
やらんとな

とさっ

ゆっくり
眠れよ
セイバー…



快樂の座 2012.04.22

OVERDOSE 端葉やち

pixiv id=191484

https://twitter.com/hashiba_y

overdose@sea.plala.or.jp



おのれおのれおのれおのれおのれおのれおのれおのれおのれおのれ

なぐられた

セイバークラスはかあいなあ